

# 読み聞かせを構成する保育者の思考と行動(6)

— 読み聞かせ経験のある母親の視点からの検討 —

○横山真貴子

(お茶の水女子大学)

秋田喜代美

(東京大学)

## 【問題と目的】

集団に対する読み聞かせは保育の場で日常的に行われている活動であるが、保育者は子どもと共にどのように場面を構成しているのだろうか。著者らは一連の研究で、集団での読み聞かせ場面の構成要因「(1)読み聞かせの場面作り(2)導入(3)読みの過程(4)読後」を提示し(横山他,1998発心)、各要因に対する思考と行動は保育者によって異なり、同じ保育者であっても、絵本や子どもの年齢により「社会的参加構造」(子どもへの誘いや読み方、対話の仕方)を変えていること(秋田他,1998発心)、また経験の積み重ねによって読み聞かせでは、まず保育者中心に絵本場面に特有な技法的な側面に着目し、推測や評価なく場面をそのまま捉えることによって、ゆ・ゆ的典型的な対応策が習得され(横山他,1998保育)、熟達に伴い複数の視点と具体的な行動対処法、長期的な展望や子どもの発達から活動を意味づけるようにチームが広がること(秋田他,1998保育)、しかし経験年数に依らず読み聞かせの捉え方によっても社会的参加構造が異なること(横山他,1999発心)を示唆してきた。ところで、子どもにとってもう一つの主な読み聞かせの場として家庭がある。家庭と保育の場での読み聞かせにはどのような違いがあるのだろうか。本研究では、保育者に加えて家庭での読み聞かせ経験のある母親が、保育の場での読み聞かせをどのように見るのかを検討し、両者の比較によって、更に保育の中での読み聞かせの特徴を浮き彫りにしていくことを目的とする。

## 【方法】

(1)対象：保育者14人と家庭での読み聞かせ経験のある母親3人。

(2)手続き：個別面接。(A)再生刺激法：保育者5人に、クラス全員への読み聞かせの時間に絵本『おぼくんのチョッキ』を普段通りに読んでもらい、場面をビデオ録画、同日これを見てもらいながらインタビューした。

(B)発話プロトコル法：(A)以外の保育者と母親に(A)のビデオを見ながら思ったことを自由に語ってもらった。

(3)分析：インタビュープロトコルを「集団での読み聞かせ場面の構成要因(横山他,1998発心,参照)」に対応させ、保育者と母親の共通点、相違点について検討する。

## 【結果と考察】

(1)保育の場に特有の要因：保育者の間では経験年

数に依らず、着目される項目自体に違いは見られなかったが、母親では「(1)読み聞かせの場面作り」の②環境(a)読む場所(b)読みの体形への言及がほとんど見られなかった。「外の音がすごく気になった」との言及が見られる程度で、例えば読み聞かせを行う保育室の位置や子ども達の座らせ方への言及は見られなかった。1対1で読まれることの多い家庭では、大勢の子ども達をどのように並ばせて読むかといった知識は当然不必要であり、こうした場の設定は、子どもの集団に対して、保育の流れの中で読み聞かせを他の活動と切り離すと同時に繋げていく必要のある保育に特有の要因といえる。逆に言及が多かったのは「(2)読みの過程」の①読み方②読みの工夫であり、その内容は共通して、絵本の地の文以外の過剰な説明や声色は不必要とするものだった。この指摘はベテランの保育者に多く見られたものであるが、母親でも同様に経験の中で試行錯誤の末、淡々とした読み方に落ち着いていたことが述べられ、「読み方」の熟達化の方向性が示唆された。

(2)家庭と保育の場に共通する読み聞かせの捉え方

:保育者同様母親においても、絵本「を」「で」楽しむといった2つの捉え方が指摘された。前者は「この本を・・・そのまま(子どもが)受け取って」欲しいと、母親自身も説明や声色は入れず読み聞かせており、保育者にもそれを求めていた。後者は、保育者の子どもへの問いかけによって「子ども自身が(自分に関して)話ができる」「きっかけ」を与え、保育者も自分についての話をしてくれることが望ましいと述べていた。このように保育の場での読み聞かせに何を求めるかは(本と子どもの出会い、先生・友達とのコミュニケーション)、母親によって異なることが指摘された。

(3)まとめ：保育の場での読み聞かせの特徴的な要因として「読み聞かせの場面作り」が指摘された。一方「読み方」においては保育者、母親に違いは見られなかった。また保育者同様、母親の読み聞かせの捉え方によって場面の見方や保育者への要求に違いが見られ、家庭、保育の場を問わず、「絵本観」が読み聞かせのあり方を規定していくことが推察される。しかし、本研究では対象とした母親の人数が少なく、年齢が30代と偏っていた。今後は本研究の結果をもとに質問紙による調査を行う等、年齢層を広げて人数を増やし、妥当性を高めることが必要である。